

関係人口は役立つか?

第3のかかわりをとらえる

オンライン開催

参加費無料 事前申し込み要

参加申し込み(下記のアドレスまたは右のQRコードからご登録ください)

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc85G8lySnyXv-Pd5klxz2SkpaMcVQm0ZmVLBhDQrwTXIUieQ/viewform?usp=sf_link

Photo by SHIKIDA Asami

2022年 **2月18日**
(金)13:30-17:00



地域再生の現場やメディアに頻繁に登場するようになった「関係人口」は、私たち、地域に関わる関係者のマジックワードなのではないでしょうか。観光でも定住でもないと言われる「関係する人々」は役割を越えて存在になれるのでしょうか。この研究会では、高齢化と人口減少に直面する地域社会の私たちが、地域外の第三者と対等に協働や共創できるかを議論します。

タイムスケジュール

【趣旨説明】13:30-13:45
敷田麻実(北陸先端科学技術大学院大学)

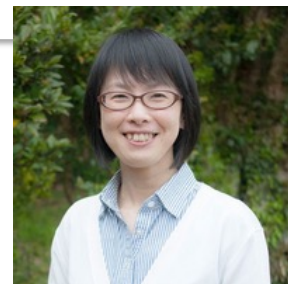
【参加者の自己紹介】13:45-14:00

【講演】14:00-15:10
「よそ者と地域再生」
田中輝美先生(島根県立大学地域政策学部准教授)

【休憩】15:10-15:30
コーヒーブレイク

【ディスカッション】15:30-17:00
モデレーター
高橋満彦先生(富山大学人間発達科学部 教授)

講師略歴: 田中輝美先生



ローカルジャーナリスト。島根県浜田市生まれ。1999年、山陰中央新報社に入社。2014年秋、同社を退職し、フリーのローカルジャーナリストとして地域のニュースを発信。2020年、大阪大学大学院人間科学研究科後期課程修了。博士(人間科学)。2021年から島根県立大学地域政策学部准教授。著書に『関係人口をつくるー定住でも交流でもないローカルイノベーション』(木楽舎)、『ローカルジャーナリストガイドー地域で暮らし、地域から発信する人のための教科書』(JCEJ)、『関係人口の社会学』(大阪大学出版会)。

